

瀬戸田レモンプロジェクト:SLP

瀬戸田地区における小中高連携について

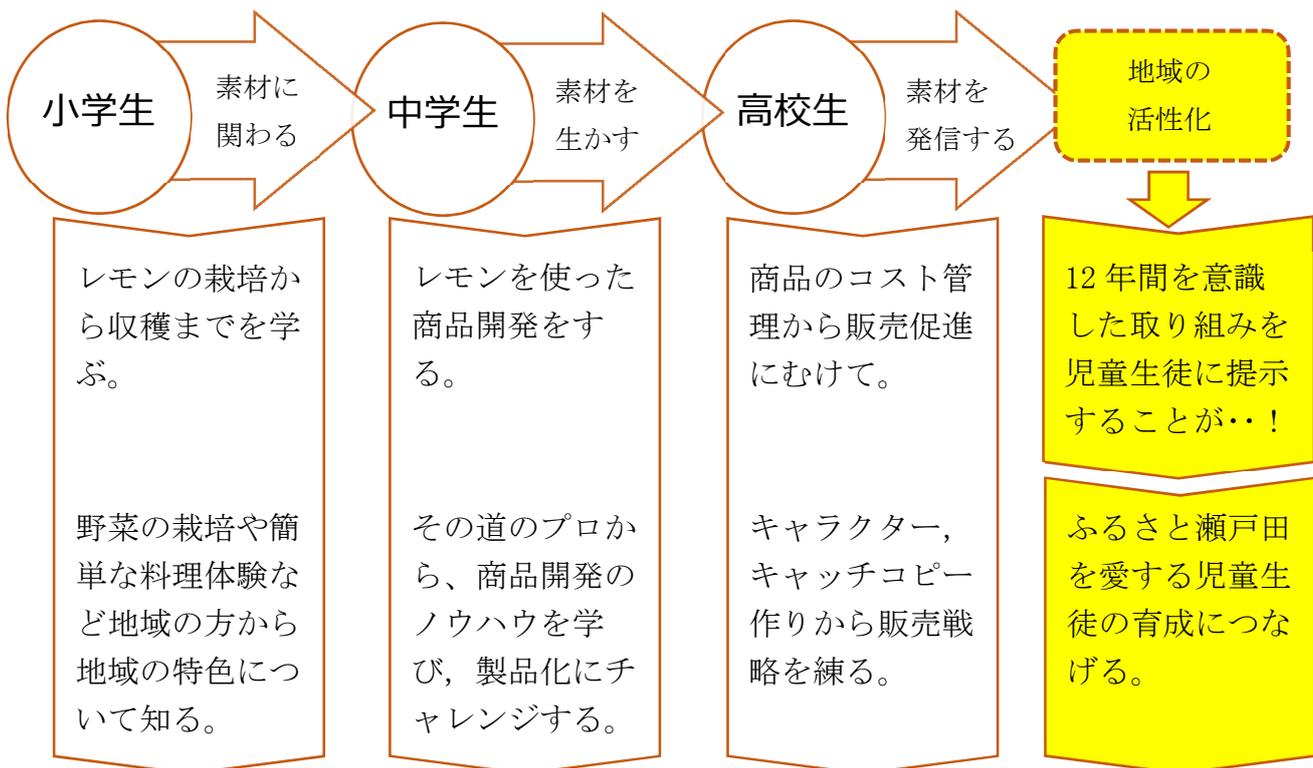
瀬戸田地区の公立学校は、瀬戸田小学校、瀬戸田中学校、瀬戸田高等学校の3校ですが、少子高齢化に伴い児童生徒数は減少しています。

一方、瀬戸田町に目を向けると、耕三寺や平山郁夫美術館などに多く観光客が訪れています。また、しまなみ海道の中間点に位置することから、多くのサイクリストが訪れています。さらに、柑橘の島とも呼ばれており、特に「レモン」に注目が集まっています。

これらの状況から、「郷土瀬戸田の活性化」という課題を児童・生徒に与え、これからの瀬戸田について考えさせることを意識した、「瀬戸田レモンプロジェクト:SLP」の取組を実践しています。

これらのことを通して、ふるさと瀬戸田を愛する児童生徒の育成を目指した連携教育を推進しています。

瀬戸田レモンプロジェクト:SLPの概要



瀬戸田小・中・高の連携教育の深化

ふるさと瀬戸田を守り育てることのできる児童生徒の育成